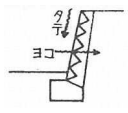
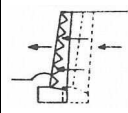
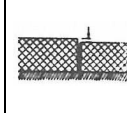
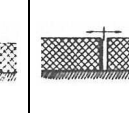
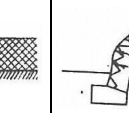
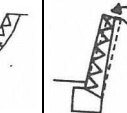
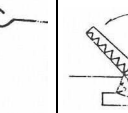
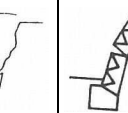
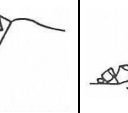


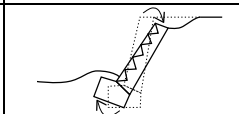
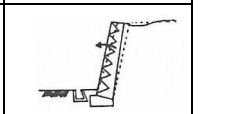
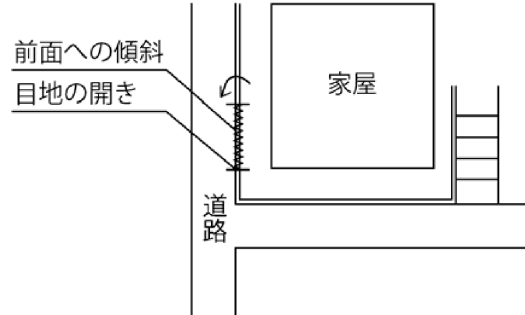
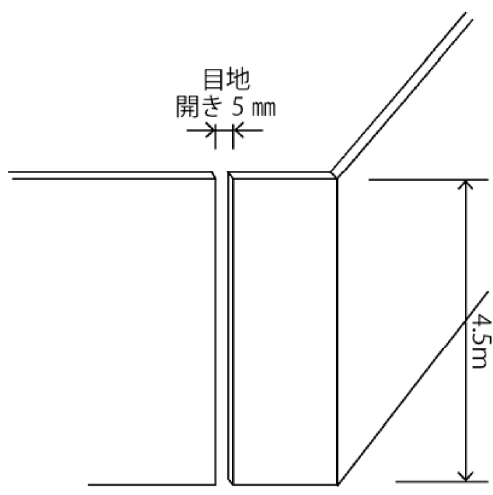
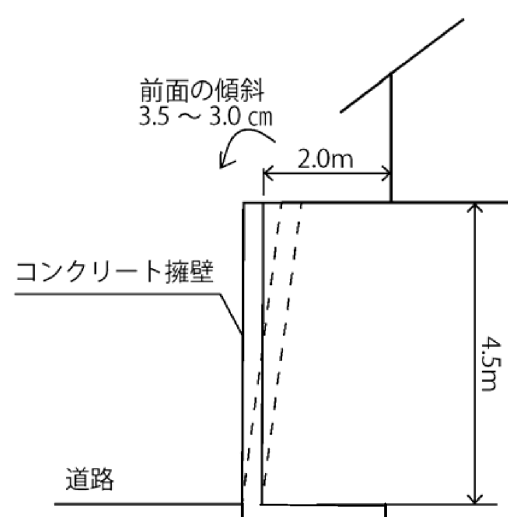


被災宅地危険度判定模擬訓練用テキスト

演習① 擁壁パターン

(様式-1) 擁壁被害状況調査・危険度判定票

調 査 票		調査日時	年 月 日			時	調査番号		
		地震名又は降雨災害名							
被害発生場所	都道府県		市郡		区町村				
	地区 団地		丁目		番 号				
所有者・管理者氏名			記入者氏名	TEL :					
所有者・管理者の連絡先	TEL :		居住者への説明	<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 居住者不在 <input type="checkbox"/> 老人独居住宅					
<被災状況図>						応急措置 <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 被災無 <input type="checkbox"/> 簡易記録			
1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損	7.崩壊	
									
8.張出し床版付擁壁の支柱の損傷			9.基礎及び基礎地盤の被害		10.排水施設の変状			建物・道路との位置関係(基礎点) 	
									
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。									
									
 <p style="text-align: center;">[平面図]</p>				 <p style="text-align: center;">[断面図]</p>					
被災写真の有無		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→写真番号 []							
特記事項									

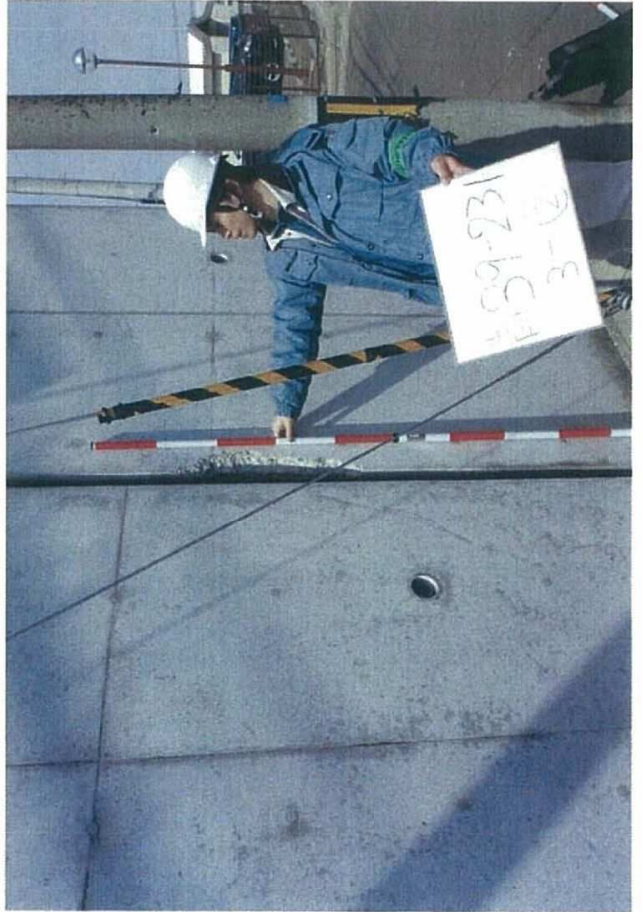
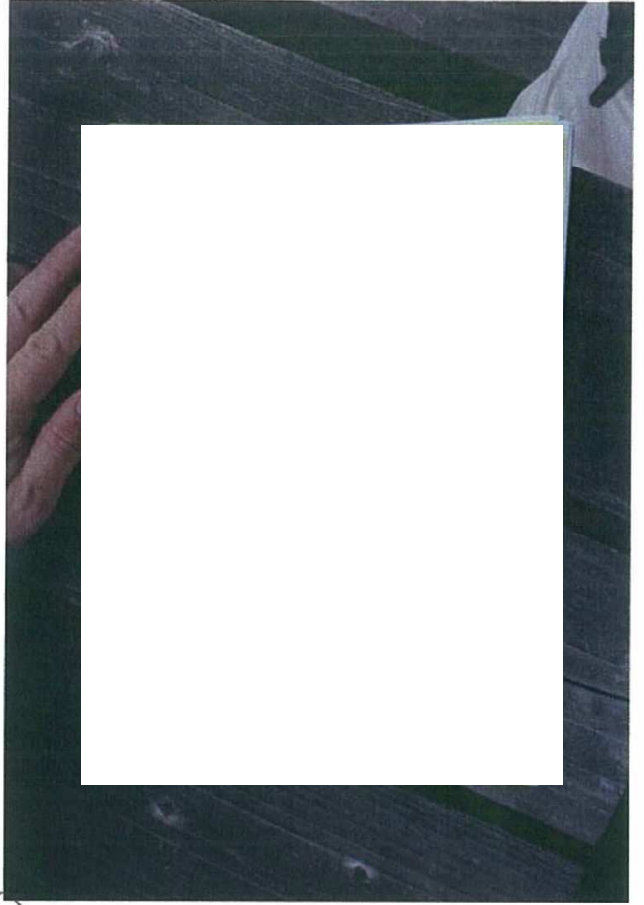
擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	□L(逆T)型 □重力式	□増積み擁壁	増積部分 擁壁部分 全擁壁高]
		□もたれ式 □その他		m 増設高	m
	□場所打ち □プレキャスト	□二段擁壁	上部 下部]	
	□練石積擁壁 □その他	□コンクリートブロック	上部高 m ; 下部高	m	
	□空石積擁壁	□玉石積 □くずれ石積 □間地石 □その他	□張出し床版付擁壁 擁壁の設置条件 擁壁の勾配	□その他 □切土・盛土境 □軟弱地盤上 □他 □不明 度 又は (1 :)]

基礎点	①湧水	乾燥	0	0
		湿潤	0.4	0.2
		にじみ出し、流出	0.8	0.4
	②排水施設	水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透阻止	0	0
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい	0.4	0.2
		水抜孔無、あっても数・寸法が不適當	0.8	0.4
	③高さ	H ≤ 1m	0	0
		1m < H ≤ 3m	0.2	0.1
		3m < H ≤ 4m	0.4	0.2
		4m < H ≤ 5m	0.6	0.3
		5m < H	0.8	0.4
		□影響範囲に建物または道路がある(A)	□影響範囲に建物または道路がない(B)	基礎点計 ①+②+③ <input type="text"/>

区分	項目	程度		小						中						大							
		擁壁種類	擁壁種類	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積		
変状形態と変状点	1 クラック			1	2	3	4	5	6	2.5	3.5	4	5	7	7	4	5	6	7	8	9	9	
	2 水平移動			2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9	9	
	3 不同沈下・目地の開き			3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	10	10	
	4 ハラミ				4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10	10	
	5 傾斜・倒壊			5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	10	10	
	6 擁壁の折損			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	10	10	
	7 崩壊				9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10	10	
	8 張り出し床版付擁壁の支柱の損傷							7						9								10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害																						
	10 排水施設の変状					3																	
	11 擁壁背面の水道管等破裂																						

変状の程度	項目/程度	小			中			大		
		小	中	大	小	中	大	小	中	大
大・中・小の概要説明	1 クラック(幅)	2mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合2mm未満)	2mm~20mm未満(コンクリート系擁壁の場合2mm~5mm未満)	20mm以上(コンクリート系擁壁の場合5mm以上)						
	2 水平移動(伸縮目地前後のずれ)	5mm未満の隙間(変位)がある。	5mm~50mm未満の隙間(変位)がある	50mm以上の隙間(変位)がある						
	3 不同沈下・目地の開き(目地上下・左右の開き)	5mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。	5mm~50mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。	50mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。						
	4 ハラミ(テンションクラック・ずれ・中抜け)	小規模のハラミ及び中抜け(積石が1~2個抜け落ちる)	宅地地盤にテンションクラック無し円弧すべりのおそれ無し	宅地地盤にテンションクラック有り円弧すべりのおそれ有り						
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm未満の傾斜)	擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コンクリート系擁壁の場合:天端50mm以上の傾斜)	擁壁が前傾・倒壊してその機能を失っているもの。						
	6 擁壁の折損(横・ななめひびわれから起きるもの。はらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	クラックを境にわずかに角度をなしている。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわずかに前傾している。)	クラックを境に明らかに角度をなしており、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)	一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1mmでも剪断破壊があり後傾している。)						
	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。	基礎部を残して滑っている。	機能を果たしていない。						
	8 張り出し床版付擁壁の支柱の損傷	支柱にひびが入っている。	支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。	支柱の剪断破壊。						
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。								
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。	左に加え擁壁のクラック又は目地からの湧水がある。	水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失われている。						
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂して水が流出している。								

被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	基礎点 + 被害点	= <input type="text"/> 点	☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害: 0点(防災上問題無し) 小被害: 1~4.5点未満(当面は防災上問題無し) 中被害: 4.5点~8.5点未満 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8.5点~(危険、要避難、立入禁止)
	危険度判定		
所見(記入者の意見) ※無被害の場合は記載無し	緊急 拡大の見込	□大 □中 □小 □有 □無 □判断不可小	(人命・財産・交通の3点を判定基準とする。) (備考:)



P

P

A

(1)